

2019年度 置賜支部 第2回勉強会（症例検討会）報告

令和元年11月15日（金）、アクティー米沢（米沢市福祉センター） 2階 第2研修室にて、置賜支部第2回勉強会（症例検討会）を開催致しました。参加者数は42名でした。

置賜地区では、地区を2つのグループに分け、各グループごとに地区別カンファレンスを行っております。今回は、その2つのグループから2演題ずつを選出し、計4演題を検討致しました。

座長は、公立置賜総合病院の海老名陽介氏と三友堂通所リハビリテーションの佐藤大介氏に依頼し以下の演題について検討を行いました。

- ① 症例報告 ～転倒リスクの高い症例における畑仕事の検討～
白石優樹氏（湖山病院訪問看護ステーション）
- ② 歩行自立に向けての関わり
原田初美氏（公立置賜総合病院）
- ③ 左大腿骨転子間骨折を呈した症例 ～入院から在宅復帰までの一連の流れを検討して～
深瀬友浩氏（舟山病院）
- ④ 右視床出血により左片麻痺を呈し、自宅退院を目指した症例～環境調整に着目した関わり～
会田航氏（三友堂リハビリテーションセンター）

各発表はそれぞれの施設・患者・利用者ごとの特性が反映されており、バラエティに富んだ内容でした。質疑応答も積極的に行われ、臨床の参考になり、新たな興味・関心を持つ良い機会になりました。今後更に活気のある研修会になるよう、運営に関しましても反省・検討していきたいと思えます。

お集まりいただいた会員の皆様、大変お疲れ様でした。そして座長・発表者の先生ならびに準備にご尽力いただいた先生方に深く感謝申し上げます。



（文責：佐藤 大介）